

# 活動情報



第 23 号



## JA直鞍の赤かぶ「もものすけ」出荷開始！ － 新たな産地づくりで地域ブランド化を目指す－

JA直鞍管内では、昨年度から新たな品目の産地づくりとして赤かぶ「もものすけ」の試験栽培に取り組んでおり、本年度は本格的な出荷に向けて、生産者9名が栽培面積40aの栽培を行っています。

「もものすけ」は、皮が赤く、内部は少しピンクの入った白色で、甘味が強く、えぐみが少ないため、サラダや煮物・漬物用途として評価の高い品種です。

今年は9月下旬～10月中旬にかけて播種を行い、生育は順調に進みましたが、11月までの高温傾向により、予定より一週間早い11月21日からの出荷開始となりました。

普及指導センターは、JA・ふくれんと連携し、栽培講習・現地指導を定期的に実施し、本格的な出荷に向けて取り組んでいます。

今後、出荷量の増加に伴い、出荷先である関西地域の小売店舗での販売も年末に向けて本格化していく見込みです。

普及指導センターでは、今後も新たな産地づくり・ブランド化に向けて、関係機関と連携し、農業者を支援していきます。



ほ場巡回の様子



収穫された「もものすけ」



出荷会議での目合せの様子

